

先駆的 ICT に関する懇談会（第 2 回）議事要旨

1. 日 時 平成 30 年 2 月 26 日（月）13 時 00 分～14 時 00 分

2. 場 所 中央合同庁舎（総務省）11 階 1101 会議室

3. 出席者

（メンバー）

甲田様、物部様、西山様（熊谷様の代理）、田中様、村井様、田口様、加納様、藤野様、西川様

（総務省）

野田総務大臣、坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官

鈴木総務審議官、武田総括審議官、山田情報流通行政局長、吉田総括審議官（情報通信担当）、吉岡審議官（情報流通行政局担当）、今川情報通信政策課長 他

4. 議 題

- 1 開会
- 2 AI の活用に関するプレゼンテーション
- 3 意見交換
- 4 閉会

5. 資 料

資料 2-1 エクスメディオ プレゼン資料

資料 2-2 フェアリーデバイセス プレゼン資料

資料 2-3 Preferred Networks プレゼン資料（非公開）

資料 2-4 生産性向上 1.5 倍について

資料 2-5 未来イメージ素案について（非公開）

参考資料 2-1 Preferred Networks 参考資料

6. 議事要旨

（1）開会

（2）野田総務大臣挨拶

（3）AI の活用に関するプレゼンテーション

資料 2-1 から 2-3 にもとづき、物部様、藤野様及び西川様からプレゼンテーションが行われた。

（4）意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ・スマートスピーカーもそうだが、AI の魅力の一つは生活に自然に溶け込み、違和感が無い点。医療や地方創生など、アナログでは達成できないことを AI、IoT、ICT を活用して補っていかねばいけない。
- ・AI は一足飛びで一気に物事を進めていける利点もある。地方等に人を送り込んで時間をかけて育てるというアプローチではもう遅い。
- ・AI が実用化されてくると、生産性の年率2%向上は達成できると思う。
- ・日本も力を入れて、トップカンファレンスへの論文投稿に取り組んでいる。日本の能力が劣っているということはなく、いかにプレゼンスを高めていくかが重要。
- ・AI に関する技術開発が進められているが、今後は、特にAI の活用のためのプラットフォームを作ることが重要である。いくらテクノロジーがあっても、それを活用する場がなければ意味がない。
- ・日本がAI をテストできる最適な国となり、日本に企業や優秀な人が来るようにするためには、5G等のネットワークインフラを早急に整備していくことが必要。

以 上